



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月2日

上場会社名 株式会社松風 上場取引所 東
コード番号 7979 URL <https://www.shofu.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高見 哲夫
社長執行役員
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 森本 隆 TEL 075-561-1112
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	9,457	14.4	1,550	35.5	1,812	32.6	1,120	63.2
2024年3月期第1四半期	8,265	2.1	1,144	△6.9	1,367	△16.0	686	△40.0

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,213百万円(△42.3%) 2024年3月期第1四半期 2,103百万円(20.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	63.12	62.85
2024年3月期第1四半期	38.77	38.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	50,578	42,060	82.9	2,360.82
2024年3月期	50,093	41,609	82.7	2,336.04

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 41,926百万円 2024年3月期 41,448百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	42.00	62.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	36.00	—	26.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき2株の割合で株式分割を実施する予定です。2025年3月期(予想)の第2四半期末は分割前、期末は分割後の金額を記載しております。年間配当金合計については株式分割の実施により単純合計できないため表示しておりません。なお、株式分割前ベースでの年間配当金は1株当たり88円00銭の予想です。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,996	15.5	2,921	35.6	3,189	33.6	2,598	66.7	146.38
通期	38,395	9.4	5,293	12.4	5,604	9.5	4,434	21.3	170.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2024年5月9日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割(2024年10月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき2株の割合をもって分割)の影響を考慮しております。株式分割考慮前に換算した1株当たり当期純利益は、249円74銭であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 常州松風齒科有限公司、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	17,894,089株	2024年3月期	17,894,089株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	134,584株	2024年3月期	151,114株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	17,747,057株	2024年3月期1Q	17,705,857株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があることをお含みおき下さい。業績予想に関連する事項については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、景気を持ち直しの動きがみられるものの、世界的なインフレの加速や欧米各国の金融引き締め政策の継続、地政学リスクの高まりによる景気の下振れが懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。国内経済についても、雇用や所得環境の改善を背景に景気は緩やかな回復基調が続きましたが、海外景気の下振れリスクや物価上昇による影響など、先行きの不透明感を払拭できない状況が続きました。

当社グループは「創造的な企業活動を通じて世界の歯科医療に貢献する」という経営理念のもと、世界の歯科医療への貢献度をより高めていくために、連結売上高500億円、連結営業利益75億円の達成を目指しております。2024年4月より新たにスタートした4ヵ年の第五次中期経営計画では、その達成に向けた最終期間として中長期における重点課題への取り組みを進めております。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、9,457百万円と前年同期比1,192百万円(14.4%)の増収となりました。売上高に含まれる海外売上高は、5,719百万円(対売上高60.5%)と前年同期比961百万円(20.2%)の増収となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費が増加したものの、増収効果により1,550百万円と前年同期比405百万円(35.5%)の増益となりました。

経常利益は、為替差益の増加などにより営業外損益が増加し、1,812百万円と前年同期比445百万円(32.6%)の増益となりました。

税金費用を差し引いた親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,120百万円と前年同期比433百万円(63.2%)の増益となりました。

(デンタル関連事業)

国内では、デジタルカメラ「アイスペシャル C-V」や、歯科切削加工用セラミックス「松風ディスクZRルーセントスーブラ」、歯科切削加工用レジン材料「松風ブロックPEEK」などのCAD/CAM関連製品が売上に寄与し、前年同期比増収となりました。海外では、米国や中国を含むアジア地域を中心に既存製品の拡販が進むなど堅調に推移し、さらに為替変動の影響もあり、前年同期比増収となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、8,862百万円と前年同期比1,222百万円(16.0%)の増収となり、販売費及び一般管理費が増加したものの、営業利益は1,579百万円と前年同期比467百万円(42.0%)の増益となりました。

(ネイル関連事業)

国内では、台湾において販売が好調なネイルケア製品を日本国内でも販売を開始し、売上に貢献しましたが、主力であるジェルネイル製品の売上が減少し、前年同期比減収となりました。海外では、台湾において一般消費者向けの売上が堅調に推移しましたが、米国ではインフレの影響による消費の落ち込みが続いており、海外全体では前年同期比減収となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、572百万円と前年同期比36百万円(6.1%)の減収となりました。利益面は販売費及び一般管理費の増加もあり、営業損失33百万円と前年同期比62百万円の減益となりました。

(その他の事業)

当社グループの株式会社松風プロダクツ京都において、歯科用研磨材の生産技術を応用し、工業用研磨材を製造販売しております。当第1四半期連結累計期間の売上高は、23百万円と前年同期比6百万円(38.6%)の増収となり、営業利益は3百万円と前年同期比0.4百万円(13.3%)の増益となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ484百万円増加し、50,578百万円となりました。受取手形及び売掛金や、商品及び製品の増加が主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ33百万円増加し、8,517百万円となりました。未払費用などの流動負債の増加が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ450百万円増加し、42,060百万円となりました。利益剰余金や為替換算調整勘定の増加が主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.2ポイント上昇し、82.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績を踏まえ、2024年5月9日に公表いたしました2025年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,716	9,394
受取手形及び売掛金	4,539	4,677
商品及び製品	7,312	8,240
仕掛品	1,741	1,769
原材料及び貯蔵品	1,237	1,329
その他	648	768
貸倒引当金	△15	△38
流動資産合計	25,179	26,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,958	12,148
減価償却累計額	△6,705	△6,768
建物及び構築物 (純額)	5,252	5,379
その他	13,258	13,557
減価償却累計額	△8,276	△8,482
その他 (純額)	4,981	5,074
有形固定資産合計	10,234	10,454
無形固定資産	524	548
投資その他の資産		
投資有価証券	11,553	10,838
退職給付に係る資産	1,875	1,874
その他	733	725
貸倒引当金	△6	△5
投資その他の資産合計	14,155	13,433
固定資産合計	24,914	24,435
資産合計	50,093	50,578

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,378	1,186
短期借入金	-	300
1年内返済予定の長期借入金	281	200
未払法人税等	880	927
契約負債	75	133
役員賞与引当金	63	19
その他	2,914	3,224
流動負債合計	5,593	5,990
固定負債		
退職給付に係る負債	228	229
その他	2,661	2,297
固定負債合計	2,890	2,527
負債合計	8,484	8,517
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,968	5,968
資本剰余金	6,134	6,119
利益剰余金	20,964	21,339
自己株式	△297	△265
株主資本合計	32,770	33,162
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,094	4,431
為替換算調整勘定	2,620	3,397
退職給付に係る調整累計額	963	935
その他の包括利益累計額合計	8,678	8,764
新株予約権	79	61
非支配株主持分	82	71
純資産合計	41,609	42,060
負債純資産合計	50,093	50,578

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	8,265	9,457
売上原価	3,322	3,766
売上総利益	4,942	5,690
販売費及び一般管理費	3,797	4,140
営業利益	1,144	1,550
営業外収益		
受取利息	10	18
受取配当金	86	84
会費収入	51	54
持分法による投資利益	-	3
為替差益	178	193
その他	62	79
営業外収益合計	389	434
営業外費用		
支払利息	6	1
当社主催会費用	129	148
持分法による投資損失	17	-
その他	14	22
営業外費用合計	167	172
経常利益	1,367	1,812
税金等調整前四半期純利益	1,367	1,812
法人税等	671	688
四半期純利益	695	1,123
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	686	1,120

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	695	1,123
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	588	△662
為替換算調整勘定	840	780
退職給付に係る調整額	△21	△27
その他の包括利益合計	1,407	90
四半期包括利益	2,103	1,213
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,089	1,206
非支配株主に係る四半期包括利益	13	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、当社及び国内連結子会社は有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法として、主として定率法（ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備、構築物については定額法）を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当社グループは、国内事業の基盤を維持・強化しつつ、経営資源の配分を海外にシフトし、海外事業の拡大、経営全体のグローバル化を推し進めている中で、新たに策定された第5次中期経営計画（2025年3月期-2028年3月期）において海外も含めた生産拠点の再配置を計画しております。これを契機に、有形固定資産の減価償却方法を検討した結果、グループ全体で生産体制の全体最適化を図ることにより、今後は有形固定資産については長期安定的に生産、稼働し、投資の効果が平均的に生ずると見込まれるため、有形固定資産の減価償却方法として定額法を採用することが費用配分の観点から合理的であり、経済的実態をより適切に反映できると判断しました。

この変更により、従来の方によった場合に比べ、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ33百万円増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他の 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,639	609	16	8,265	—	8,265
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	1	1	△1	—
計	7,639	609	18	8,266	△1	8,265
セグメント利益	1,112	28	3	1,143	1	1,144

- (注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。
 2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他の 事業	
日本	3,324	358	16	3,700
北米・中南米	909	59	—	969
欧州	1,860	—	—	1,860
アジア	1,545	190	—	1,735
顧客との契約から生じる収益	7,639	609	16	8,265
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,639	609	16	8,265

- (注) 外部顧客への売上高は、当社及び連結子会社の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他の 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,862	572	23	9,457	—	9,457
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	1	1	△1	—
計	8,862	572	24	9,458	△1	9,457
セグメント利益	1,579	△33	3	1,549	1	1,550

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他の 事業	
日本	3,587	333	23	3,944
北米・中南米	1,192	44	—	1,237
欧州	2,160	—	—	2,160
アジア	1,921	193	—	2,115
顧客との契約から生じる収益	8,862	572	23	9,457
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,862	572	23	9,457

(注) 外部顧客への売上高は、当社及び連結子会社の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「注記事項(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)」に記載のとおり、有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法については、従来、当社及び国内連結子会社では主に定率法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この結果、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益が、デンタル関連事業で32百万円、ネイル関連事業で0百万円、その他の事業で0百万円増加しています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	255百万円	233百万円